

災い転じて福となす（春節にまつわるトアールうれしい出来事！）

mon	tue	wen	thu	fri	sat	sun
			2/1	2	3	4
5	6	7	8	9	10 春節	11 春節
12 春節	13 春節	14 春節	15 春節	16 春節	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	3/1			

今月とはにかく、（出会う）人が少なく、人との接触も少なく、アドレスを交換するようなトアール中国人との出会いやハプニング等のストーリーは悲しいかな、何もナッシングなので、春節のお話です。

中国を語る上で春節は欠かせません。中国を語る上で、春節をスルーすることは、西遊記を語る上で孫悟空について全く触れないことと同じ気がします。私も個人的に春節がどんなものかとても興味があり、楽しみでした。中国で年間最大の休日であり（一週間）、14億の中国国民が1年で最も待ち望んでいる日だそうです。「仲良しの中国人の友達を作って、春節には中国人の一般家庭に招待してもらおうぞ！！」と密かに画策していたのですが、そうは上手くいきませんでした。中国人の一般家庭にまだ行ったことがないので、帰国までには何とかしたい、と思っています。

春節とは何か??という受け売りの回答は割愛します。今年は2月10日土曜日から2月18日日曜日まで9日間お休みです。2月10日が日本でいうところの元旦です。前日の夜から爆竹音が止むことはほぼありませんでした。当日は午前中、大学内外を歩いてみたのですが、おそろしく静かです。人の出、車の出は普段の1割ほど。あれだけたくさんいた人はどこへ行ってしまったんだい?という感じです。まあ日本の正月風景と変わりません。この日の夜は留学生仲間と太原の繁華街へ繰り出すことになっていました。夕方、バスと地下鉄を乗り継いで現地へ行ってみると、いましました、人がたくさん！ネオンもキラキラ星★山西大学の場所を県庁と

するなら、繁華街とはさしずめ大宮の南銀あたりをイメージしてもらえばいいかと思います。

この時期、一番困ったのが食事。とにかく一部のスーパーとコンビニを除いてほぼ例外なく閉店。コンビニが開いていれば問題ないのでは？というのは日本の感覚で、毎日でも食べたくなるようなお弁当やおにぎりなど皆無です。「冬休み中も唯一営業を続けます！」と宣言していた大学の南門食堂も春節の期間は閉店しており、食の確保に奔走することになりました。外卖（「ワイマイ」）と呼ばれる食事の宅配サービスが中国では広く普及していて、留学生の多くはこの時期、このサービスを利用していたようですが、私は個人的に好きではなかったので利用はしませんでした。

2月11日、晩飯の場所を探すこと1時間あまり、ようやく開いている一軒の飲食店を発見。商魂たくましい店もやはりあるもんだと、感心した次第です。私は商売に関しては素人ゆえ、物申す資格がないのは百も承知ですが、こういう時こそ店を開ければ、がっばり儲かる気がしてなりません。「春節の期間に働いていられるかよ！」というのが真っ当な中国人の考え方かもしれないし、一人だけ店を開けると村八分にされるのかもしれない。また、傾きかけた店だからこそ、この時期でも営業をしなければならないのかもしれない。時あたかも夕方の食事時、ほぼ満席。チャーハン（10元）を注文するも、さんざん待たされた挙句、出されたのは、お世辞にも美味しいとは言えないチャーハンでした。こういう類の話はあまりオープンにはなりません、時々あり、私自身、何度か経験済です。店員がこちらの来店に好意的か否かも瞬間的にわかります。順番を後回しにされたり、スープや漬物がついてなかったり、出されたご飯が冷たかったり・・・

5年ほど前に、一人旅で北京へ行った時の事、ある飲食店で海鮮丼を注文したところ、出されたのは3、4人分もありそうな大きなスープでした。間違えている旨伝えたら、店員に大きな声で物凄いスピードで言い返され、何もできませんでした。周りの店員もニヤニヤしてばかり、助けてくれる客もおらず、侘びしい気持ちになったことがあります。ただ悔しくて、「中国語をマスターして、次は必ず言い返してやるぞ。」と思いを新たにしました。日本では考えられませんが、中国ではたばこを吸いながら、あるいはスマホを操作しながら注文を取るというのは全く当たり前の光景です。これもまた勉強、勉強、「郷に入っては郷に従え。」といったところでしょうか。こういう店には2度と行くことはないし、2度目の来店時も同じく酷い対応をされるのかどうかは知る由も有馬温泉。一期一会の精神で、一見の外国人客にもきちんと対応してくれれば、リピーターになったり、友達に紹介したりして、お客さんは増えるのになあ、と思った次第です。

なお、2月19日月曜日、ほぼ2月ぶりに後期の授業が再開。クラスやメンバーは前期と変わりなし。今回の留学も折り返し点を越え、寒さも漸く峠を越えたところ、気持ちも新たに勉強を開始します。

2023-2024 中級班の国別構成員数

国	男	女	計
ベトナム	2	16	18
インドネシア	1	4	5
モンゴル	2	1	3
ウズベキスタン	2		2
日本	2		2
タイ		1	1
韓国	1		1
フィリピン	1		1
アメリカ	1		1
計	12	22	34



2月10日春節、太原市繁華街にて、留学生仲間と

★トアール日の食事

- ① 朝 (学外) ストロベリーひとパック。20元。日本ではめったに食べないのですが、果物屋店頭に並んでいるイチゴがあまりにも美味しそうなので、ちょっと高かったが、買ってしまいました。癖になりそうです。
- ② 昼 (♥) 春節の最中、「食べる所がないよー」とネットでつぶやいたところ、クラスメートのひとりが差し入れてくれたお弁当。「毎日自炊しているから、よかったらどーぞ」と！ 彼女には以前、タクシーの乗り方を聞かれ、自分の使っているアプリを紹介、実際に近くまで一緒に乗ってみて、とても感謝されたことがありました（私はバスや地下鉄があまり好きではなく、タクシーはよく利用するので、お安い御用でした）。食べる所を探すのに困っていたこの時期、涙が出るほど嬉しかった。美味しかったことこの上なし。この留学期間中、一番嬉しかった。
- ③ 夜 (学外) 麻婆豆腐定食（16元）。久しぶりに中華を食べてみようか、という気持ちになり、定番の麻婆豆腐を注文。辛さはピカ一。帰国までにまた、もう一度麻婆豆腐を食べたくなるか否か、全く不明。

この日の食事代合計 46元 (1元 ≒ 20円)

①



③



②

